

〔産科婦人科〕

研修の内容と特徴

【特徴】

産科婦人科は周産期・婦人科腫瘍・生殖医療・女性医学を4つの柱としており、これらを総合的に研修できるような体制作りを行っている。

周産期医療については地域周産期センターとして、ハイリスク妊娠・分娩に対して、NICUをはじめ、他科と連携しつつ対応している。また、出生前診療外来を設けて、臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが出生前診断の遺伝カウンセリングを行って、羊水検査・母体血を用いた胎児染色体検査(NIPT)などの出生前遺伝学的検査を実施している。

婦人科腫瘍の領域では地域がん診療連携拠点病院として子宮、卵巣の悪性腫瘍を中心に、その早期診断と治療をおこなっており、外来化学療法にも力を入れている。また、ペインクリニックとともに地域と連携をとり、緩和医療も推進している。

生殖医療については生殖医療センターを開設しており、一般不妊症の総合的原因検査及び排卵誘発、人工授精などの不妊治療、免疫性不妊を含む難治性不妊症に対する体外受精、顕微授精、胚の凍結保存などの高度先進不妊治療を行っている。

文部科学省より周産期医療環境整備事業（人材養成環境整備）：「兵庫医大の特徴活用型周産期医療支援事業」として平成21年～平成25年の5年間にわたり補助金を獲得した。女性医師が結婚や出産後も安心して勤務継続・復帰が行える環境作りを目指しており、前期研修医の段階から積極的に周産期医療の領域に進もうという意欲を高めるようにしている。事業終了後も若手医師・女性医師の働きやすい環境を提供している。

当院の研修プログラムのうち産婦人科重点プログラムの取組は、前期研修の終了後に、周産期を専門とする産婦人科医の育成を目標としている。講座内に研修室を設置し、専用の机と椅子、パーソナルコンピュータ等の設備を設置し、共用設備としてはプリンタの設置やLAN環境の整備も行っている。これらにより周産期医療実施部署へのアクセスの改善を行うと同時に研修内容を個人で整理するための環境整備を解決している。また積極的に学会や研修会への参加を勧め、交通費と参加費等の補助を行っている。

【内容】

① 一般目標(G I O)

厚生労働省で定められた臨床研修の到達目標に定められた産科婦人科疾患・病態を外来診療、受け持ち入院患者で自ら経験することを研修目標とする。

② 行動目標(S B O)

◎ 産 科

1. 産科診察法を習得する。
2. 妊娠・分娩・産褥の一般知識を学び、正常分娩を取り扱うことができる。
3. 産科手術法の基礎を習得する。
4. 基礎的な産科画像診断法（超音波、MRI）を習得する。
5. 合併症妊娠についての基礎的知識を習得する。
6. 新生児（未熟児を含む）の生理を学び、新生児急性疾患を鑑別できる。
7. 異所性妊娠、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、HELLP症候群、羊水塞栓症、など産科急性疾患について一般知識を習得するとともに、そのうち最低1例を経験すること

が望ましい。

◎ 婦人科

1. 婦人科診察法を習得する。
2. 婦人科手術法の基礎を習得する。
3. 婦人科疾患・生殖医療についての一般知識と治療法の基礎を習得する。
4. 婦人科画像診断法（超音波、CT、MRI）の基礎を習得する。

③ 研修内容（方略）(LS)

産科および婦人科の各病棟医長のもと、各研修医担当の主治医とともに患者を受け持つ。

1. 産科の分娩取扱い、指導医と主治医担当（正常分娩3例 合併症分娩3例）
産科超音波画像診断法を指導医と実施する（20例）。
2. 外来診察の研修指導医の診察、妊婦健診、生殖医療センター外来に立会う。
3. 指導医とともに主治医として病棟患者を受け持つ（10例）。
4. 婦人科画像診断(MRI, CT, 超音波)、(20例)、内視鏡検査（診断）の（5例）研修
5. 産科手術の主治医と、手術に立会う（2例）。
6. 婦人科疾患の主治医と、手術に立会う（3例）。
7. 体外受精、胚移植を見学する。

④ 教育に関する行事

月	午後5時～	NICUカンファレンス、腫瘍カンファレンス
火	午前・午後	手術
	午後5時～	手術後患者回診
水	午後1時～	研究カンファレンス（研究指導教官、大学院、研究担当者）
	午後2時～	回診
	午後3時～	産科婦人科全体会議（◎ジャーナルクラブ ◎産科カンファレンス、◎手術患者術前、術後総合カンファレンス ◎外来、入院患者カンファレンス ◎画像診断、病理診断カンファレンス）
金	午前・午後	手術
	午後5時～	手術後患者回診

⑤ 研修評価(EV)

1. 自己評価
各科ローテーション終了後EPOCへ入力する。
2. 指導医による評価
EPOCでの入力による評価を行う。

指導医等

主任教授：柴原 浩章

教授：澤井 英明

講師：福井 淳史

学内講師：坂根 理矢

助教：浮田 祐司

准教授：田中 宏幸

講師：原田 佳世子

助教：脇本 裕

助教：森本 真晴

准教授：鏑本 浩志

学内講師：井上 佳代

助教：上田 真子

研修実施責任者

医局長：田中 宏幸